

子宮頸がん予防のためにできること

子宮頸がんは、子宮の入り口に近い部分にできるがんで、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。日本では、近年20～30歳代の患者が増えており、年間約1万1,000人の女性がかかり、毎年約2,900人が命を落としています。

子宮頸がんを防ぐためには、HPVワクチン接種と子宮頸がん検診が大切です。

子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)

対象者は無料で接種できます。接種期間(期限)までに接種をご検討ください。

定期接種

対象・期間 小学6年生になる年度の初日～高校1年生相当の年度の末日の女性

キャッチアップ接種(今年度で終了)

対象 平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性

期限 来年3月31日まで

※接種は合計3回で、完了するまでに約6カ月かかります。高校1年生相当以上の接種対象者は、1回目接種を9月末までに受けましょう。

※予診票の交付方法など詳しくは健康づくり課へお問い合わせください。



子宮頸がん
予防接種

子宮頸がん検診

子宮頸がん検診は、子宮の入り口を専用のブラシなどで軽くこすって細胞を採取し、顕微鏡で調べる検査です。がんになる前の病変やごく初期のがんを発見することができます。



初期の段階ではほとんど自覚症状がないため、20歳になったら、2年に1回定期的に検診を受けましょう。原則、一度でも性交渉経験のある人が対象です。まれにHPVが原因でない子宮頸がんもあるため、不正出血や痛みなどがある場合は、婦人科で診療を受けましょう。

対象 20歳以上(令和7年3月31日時点)で自覚症状がない女性



津市
がん検診

産後ケア事業の紹介

産後の体調や育児に不安がある、出産後1年未満の産婦とその子どもを対象に産後ケアサービスを実施しています(最長7日間)。詳しくはお問い合わせください(生活保護世帯無料)。

実施場所 市内協力医療機関(産婦人科)、助産所

問い合わせ 各保健センターへ



子どもの予防接種は計画的に

予防接種を受けることで感染症などの病気が予防できます。予防接種は病気にかかりやすい時期を考慮して接種期間を定めています。そのため、種類によって受けられる年齢やタイミングが異なります。

効率よく受けるためにも、スケジュールを確認しましょう。詳しくは市ホームページをご覧ください。



子どもの
予防接種

受診可能な医療機関のご案内(24時間年中無休)

三重県救急医療情報センター

コールセンター 229-1199



医療ネットみえ

～津市第4次健康づくり計画推進中～

津市健康づくり実践企業・実践団体を募集しています！

津市では、従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業や、市民の健康づくりに積極的に取り組む団体を募集しています。

私たちと一緒に職場や地域での健康づくりを進めませんか。

実践企業・実践団体に登録すると…

- 登録証とステッカーを交付
- 健康に関する情報や啓発媒体を提供
- 実践企業での健康相談や健康教育の開催に協力(実施数に上限あり)



津市健康づくり
実践企業



津市健康づくり
実践団体



応急措置方法のご案内、医療相談・健康相談など(24時間年中無休、通話料・相談料は無料)

津市救急・健康相談ダイヤル24

0120-840-299

医師や看護師など専門スタッフが、相談にお答えします。

